

## 2022 奈良ラソン救護班に訪問看護ステーション野の花の看護師が参加

訪問看護ステーション野の花看護師 2 名、病院からは医師 1 名、看護師 4 名、理学療法士 1 名が参加しました。



第 8 救護班メンバー



AED 隊コースを往復巡回「行ってきます」

※写真は許可を得て掲載しています

2022 年 12 月 11(日)最低気温 6.4 度、最高気温 15.7 度、青空のもとスタートしました。朝 9 時号砲と共に一斉にロートフィールド奈良を 12,000 人のランナーがスタートしました。10km コースは奈良市内折り返しコース(1 時間 30 分)、42.195 km コースは(6 時間)天理市役所北側折り返しコースです。途中、鹿も走行するハプニングがありましたが、ランナー達は冬の古都奈良のまちを駆け抜けました。コースには、関所 10ヶ所が設置され近隣の地域住民が給水や誘導などランナーに心を込めたボランティア活動をされていました。救護所は 0~12ヶ所に救護班が設置され、奈良県内の医師・看護師・理学療法士や作業療法士・消防救急隊員・事務員など約 140 名が設置された救護所にわかれ救護にあたりました。救護所では自転車に乗りコースを往復巡回する AED 隊、救護所と沿道でランナーの救護担当に分かれてそれぞれの役割を果たしました。私達が担当した第 8 救護所はランナー達が天理市銀杏並木を走行し天理市役所北側の折返し地点の救護所でした。約 20 名のランナーの救護にあたりましたが命に別状はありませんでした。新型コロナウイルス感染対策徹底されており、ランナーは走行中以外のマスクの着用を厳守し奈良マラソン開催後 1 週間が経過しましたが奈良マラソンに携わった方々からの感染報告はないとのこと。参加した 1 人 1 人の熱い思いと力が成功へと導いたことに感極まりました。

所長：丸山節子